



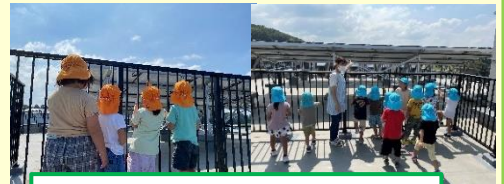
7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに

太陽光パネル

蓮代寺こども園の屋上には太陽光パネルがあります。太陽が出ている間は発電し、園内の使用電力の一部がまかなわれ、エコな電気を使用しています。また玄関ホールには、どれだけ発電したかを表示しているモニターがあり、子どもたちと「太陽光のいいところ」電気を作る時にCO2を排出しないこと・電気を作る時に大切な資源を使わなくて良い事などを知る機会になっています。また、職員室には電力の使いすぎをアラームで知らせるデマンド装置があります。

先日4、5歳児の子どもたちが屋上の太陽光パネルを見に行きました。「ニュースで見たことある」「お家の近くにあるよ」と話し、太陽光パネルから繋がるパイプを見つけて「この中（パイプ）に集めるんじゃない?」「ここを通ってお部屋に電気が行くのかも!」と友達と話す姿が見られました。太陽光パネルを見たことで玄関ホールのモニターにも興味を示して「今日はどのくらいの電気ができたかな?」と友達と話す姿も見られます。

また、園庭で遊んでいると、日向と日陰の地面を触って「あれ?こっち（日向）のほうがあったかいね」と暖かさの違いに気づき、「気持ちいい〜」と芝生に寝転がって太陽光で暖められた熱を肌で感じる様子も見られます。見たり触れたりして体験したことを通して、社会の仕組みや自然のありがたみを知り、電気やものを大切にしようとする気持ちを少しでも感じてくれたらいいなと思います。



近くで見る太陽光パネルって大きいね!



「あのお家の屋根にパネルあるよ!」と屋上から太陽光パネルを発見!



15.陸の豊かさを守ろう

秋ってきもちいいね

日中はとても過ごしやすい季節になり、子どもたちは、天気の良い日は園庭遊びや散歩など戸外遊びを楽しんでいます。園庭にはたくさんのトンボが飛んでいて追いかけたり、そっと近づいて捕まえたりとトンボに夢中の子ども達です。年齢の小さい子もトンボが飛んでいる事に気が付いて、指さしたり、ジーと見つめたりと興味を持っています。時には大きい子に「触ってみる?」と近くで見せてもらい、そっと触る姿も見られます。「羽を持つといいよ」と大きい子たちは優しく教えていますよ。生き物を捕まえた後は、「また遊ぼうね」などと言って逃がし、生き物を大切にする言葉や様子が見られます。様々な生き物や草花に触れ、太陽の暖かさや風などを感じながらのびのびと自然の中で遊ぶ子どもたちは、笑顔が溢れ生き生きとしています。この恵まれた自然の中で楽しい時間を繰り返し過ごすことで、自然に対する愛情や感謝の心が自然と芽生えるのではないかと思います。現在、地球温暖化や気候変動による環境への負担の増大が問題になっています。これらは私たちの生活にも大きな影響を与えていますが、そこに住む生態系も多大な被害を被っています。今、私たちが環境保全に真剣に取り組むことが重要となっています。CO2を主とする温室効果ガスの抑制、食品ロスの削減等ゴミの減量と分別、省エネや再生可能なエネルギーの導入等、日常生活の中で出来る事から積極的に取り組んでいくことが大切です。子どもたちにこの豊かな自然環境を残してあげることが、私たち大人の使命だと思います。



親子遠足で木場潟まで歩いていったよ。



じゃんけんぽん!



石川さんに見せてもらったハチ（オス）は、針がないので触っても大丈夫だったよ

虫取り名人の石川さんとの虫探してハチ（オス）を触ったよ



坂をよいしょ♪よいしょ♪



虫いないかな〜?



トンボ見つけたよ



12.つくる責任つかう責任

実りの秋

子ども達と一緒にさつまいもを収穫しました。土の中からさつまいもが顔を出すと「出てきた」「はやく掘ろう!」などと夢中になって掘っていましたよ。収穫したさつまいもは、焼き芋にしたり、各クラスで子どもたちと一緒に料理をしたりして食べています。また、蓮代寺こども園では、ツルを乾かしてリース作りをしたり、茎（葉柄）など普段は捨ててしまう部分もおいしく食べたりして余すことなく大切に使用していますよ。自分たちで育て調理に関わる事で、食への関心が深まり、おいしく食べたり残さず食べようとしたりする気持ちに繋がっています。

みんなで茎（葉柄）の皮むきたよ



芋ほり♪（3・4・5歳児）



芋づるご飯をほおばっています



お兄ちゃんたちが掘ったお芋を触ったよ



先生に茎（葉柄）をきんぴらにしてもらって食べたよ（3・4歳児）